

2026 年 8 月 18 日提出

日本機械学会 計算力学部門
「数理から知的活動に繋げる代替モデリング研究会」
第 4 回研究会 報告書

下山 幸治（九州大学）

日時：2026 年 8 月 5 日（水） 13:00-16:30

場所：【対面】日本機械学会 第 1・2 会議室

【オンライン】Microsoft Teams

参加人数：69 名（対面 11 名、オンライン 58 名、参加申込済で当日不参加の方を除く）

プログラム

13:00-13:05	下山 幸治（九州大学） 挨拶
13:05-14:05	深見 開（東北大学） 【話題提供】 Data-driven fluid mechanics via an encoder-decoder perspective: beyond surrogate modeling
14:05-14:15	休憩
14:15-15:15	劉 継紅（大阪成蹊大学） 【話題提供】 キーボードスイッチの押し心地設計支援に向けた段階型 CAE サロゲートモデルの構築 － 設計成立の判定と性能値・応答曲線・場の予測 －
15:15-15:25	休憩
15:25-16:05	齋藤 蓮（九州大学） 【話題提供】 精度を担保した設計の高速化に向けた CNN-MLP 統合 アーキテクチャの構築と評価
16:05-16:30	議論

第 4 回研究会では、機械学習ベースの代替モデルを使った物理場の予測・設計への応用について、3 名の講師から話題提供いただいた。各講演について、大学・研究機関・企業に所属する多くの参加者から様々な質問を頂戴し、講師の方々からの回答を含めて、活発にご議論いただいた。

次回の第5回研究会は，2026年11-12月期に東京地区での開催を予定している．

当日の様様

